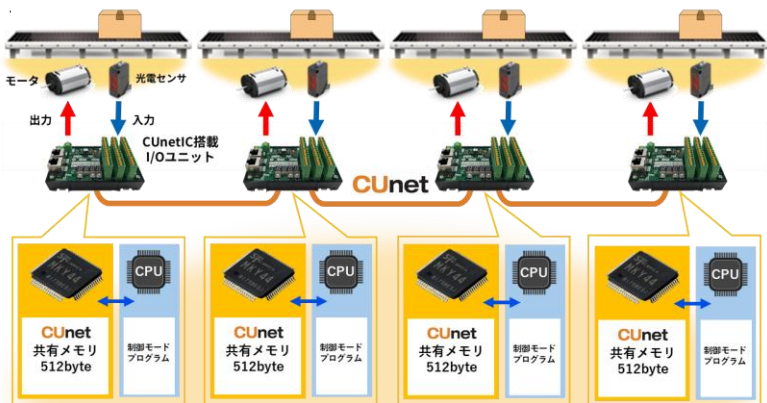


CUnetを活用した自立制御デモのご紹介

構成



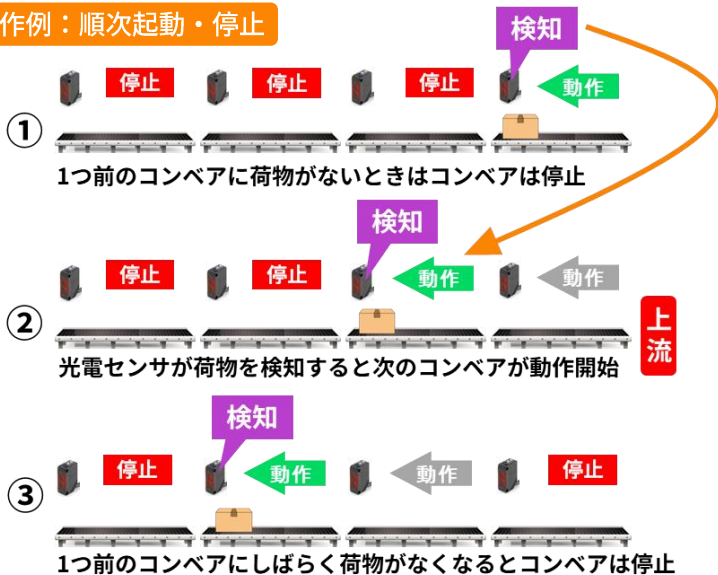
全ユニットからアクセス可能な“1つの共有メモリ”を実現

1つのCPUが共有メモリに書き込んだデータは、システム内のどのCPUからでも読み出すことが可能です。



各ユニットのCPUから共有メモリのリード/ライトアクセスのみによって各ユニットとのコミュニケーションが成立します。

動作例：順次起動・停止



特長

コントローラレス制御

⇒各I/OユニットがCUnetを介しデータを共有
コントローラレス(PLC等が不要)で自立的に動作。

高速通信による協調動作

⇒4台のユニット接続で1周期の応答速度は182μs
リアルタイム性を追求した協調動作を実現。
応答速度は保証値の為、変化いたしません。

通信プロトコル内蔵によるCPU負荷軽減

⇒独自の通信プロトコルをICへ内蔵。
これにより制御プログラム開発時に通信を
意識する必要性が低減。安価なCPUで開発が可能。

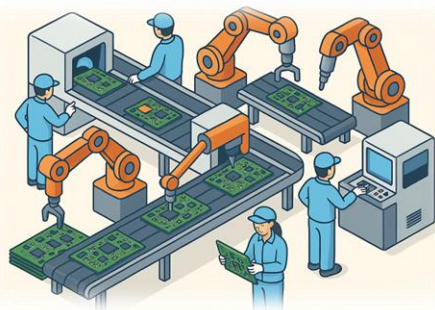
柔軟なネットワーク構成

⇒最大64端末、HUB仕様で分岐や最大900mの
通信距離を実現可能。

用途例

各種搬送ライン

組立 検査 物流



CUnet 導入実績

- 半導体製造装置
- 射出成型機
- 大型印刷機
- チップマウンタ
- ホームドア
- 駐車場管理システム
- ゴルフ練習場システム
- 医療機器
- 自動搬送ロボット
- 溶接機
- 放電加工機
- 産業用ロボット
- 液晶パネル搬送装置
- 花火打上げシステム
- 倉庫管理システム
- 防犯制御システム